

支援プログラム

法人（事業所）理念		子ども及び保護者の意志、人格を尊重して、基本的な知識や技能を取得し、発達や成長を促すための、サービス提供を行う。また交流出来る機会を増やし、集団生活への適応や地域の中で生活が出来るようにする。	
支援方針		すべての子どもたちと保護者が、安心できる環境（場所、スタッフ）を提供します。	
営業時間		10時30分～17時30分（月～金） 10時30分～17時00分（第1、3土曜日）	送迎実施の有無 有
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康に生活出来る事を目的として、自分の健康に関心を持ち、生活のリズムを身につける支援を行う。そして、健康な生活の基本となる食育については、一緒におやつ等を楽しく食べて、食に対する関心を育みます。また、衛生面では身の回りを清潔にし、衣類の着脱や手洗い等、基本的生活スキルの取得を支援する。	
	運動・感覚	日常生活に必要な、動作の基本となる姿勢保持や、色々な遊び（ボルダリング、うんてい、ターザンロープ、鬼ごっこ、マラソン）から運動する楽しさを知り、運動能力を上げるように支援する。音楽に親しみ、体操、ダンスや、歌を歌ったり、感覚を十分に活用出来る様にします。平衡感覚を掴むことが苦手な子どもには、職員がさりげなく補助して「できた！」という気持ちが次への意欲につなげられるように支援する。	
	認知・行動	身近な物や遊具から視覚、聴覚、触覚等の感覚を習得し、個人個人の特性に配慮し、自分なりの活用や行動ができるように、支援する。また特性を踏まえ、個人に入る情報やルールが、適切に理解が出来るように配慮する。感覚遊びや創作活動などの情操教育を通して、自身の考えや思いを伝えられるよう適切な行動の取得の支援を行う。	
	言語 コミュニケーション	会話やコミュニケーションなどの基礎的な能力の向上ための支援を行う。具体的な支援として他の児童との関わりを持てるように活動は集団で行い、適切な言葉遣いやコミュニケーションを学べるよう、適宜スタッフの言葉かけを行う。個人の特性に応じた読み書き能力を養い、学習（宿題やテスト勉強）に取り組めるようにする。	
	人間関係 社会性	他者との関係を意識し、友達や職員と活動したり遊び等を通して、社会性を育み、周囲の人と安定した関係が築けるように、支援を行う。遊びを通して、役割分担やルールを守る等、社会性の発達及び、友達との関わりを深め、自分の気持ちの伝達、そして相手の気持ちを理解出来るように支援する。	
家族支援		保護者との懇談会、電話、連絡帳、ラインなどで、児童の様子を共有する。	移行支援 学校、他の福祉サービスへの円滑な移行をサポートする。
地域支援・地域連携		地域の関係機関との連携や地域や学校のイベントに参加出来る場合は参加する。また、児童相談所等の専門機関との連携、個別のケース学校での会議への出席等を行う。	職員の質の向上 外部研修に参加し、職員のスキルアップのために社内展開する。また、定期的な研修や勉強会を実施する。
主な行事等		季節を感じる行事（初詣、豆まき、お花見、流しソーメン、水遊び、ハロウィンパーティー、みかん狩り、芋掘り、クリスマス会、etc）や遠足（スケート、プール、枚方パーク、京阪神内公園、etc）その他、段ボールハウス作りやお誕生会、そして、工作、手芸等も、節目節目で取り組んでいます。	